

追手門学院大学

校友会会報



第65号

平成20年(2008年)9月15日

発行者 〒567-8502

茨木市西安威 2-1-15

追手門学院大学校友会

会長 平野 昌雄

電話 072-643-6135

FAX 072-643-6099

©2007 編集責任 蟻 柴 潤一

大学創立四〇周年・学院創立一二〇周年を記念して建設が進んでいた「將軍山会館」が六月二十八日(土)に竣工しました。

当日は、鈴木学院長をはじめ大学関係者、宮本輝氏ら校友会会員多数の参加を得て、定刻、一階正面の坂上楠生画伯の絵の除幕が行なわれた。

二号館から食堂へ続く坂道の右手に完成した白い瀟洒な建物に入ると、ゆったりとした空間のオープンカフェとなっています。南側



將軍山会館竣工 念願叶う

の坂道に面したガラス戸と北側の中庭に面したガラス戸は全開でき、学生・卒業生・教職員のコミュニケーションの生まれる空間となっています。訪れた卒業生を歓迎してくれているかのように壁面には一号館に掲げられていた校章が飾られています。

オープンカフェから展示室に入ると、大学・学院の歴史と伝統を継承した展示スペースとなっており、石積みの中に展示物が飾られています。開学当時の景観や校舎の変遷、開学当時の制服や正門に掲げられていた大学銘板、天野初代学長の肖像絵等があり、開学当時を知っておられる卒業生には懐かしい空間となっています。

二階へ上がる階段の正面には一号館の絵が飾られており、二階の通路には講義ノートや卒業記念品等学生



挨拶する宮本輝氏

生活の変遷がわかるようになっていきます。歴代学長からのメッセージもあり、当時の時代背景や学生気質も伺うことができます。また、この通路の正面にある壁面には第一期卒業生・宮本輝氏の本の挿し絵を描いておられる坂上楠生氏の絵が飾られています。この絵は本学が舞台となった「青が散る」を基に描かれたもので背景には一号館がえがかれています。

その他二階には活躍する卒業生を紹介する展示コーナーや開学当時のキャンパスのジオラマ(模型)があり、一階・二階の展示コーナーにはそれぞれ液晶パネルが設置され、映像によっても過去や現在の大学の様子を見ることが出来ます。

これらの展示コーナーは、大学や学院の歴史や伝統を学ぶ場として授業の一環でも利用されています。その他中庭には季節の植物が配され、小さなステージもあり学生のデモンストレーション等の活動ができる場所にもなっています。会議室も二室あり卒業生や学生が自由に利用できるようになっています。

展示室を有する同窓会館は他の大学でもあまり例がなく、この機会に卒業生のみならず是非ともお立ち寄りいただき、また、この会館が母校の発展に繋がるようにゼミの同窓会やクラブのOB会等で利用していただきたいと思います。

総会及びホームカミング・デーのご案内

＜アメ民08演奏＞

竣工間もない將軍山会館で大学の「今と昔」をお楽しみ下さい。

開催日：2008年11月3日(月・祝)

総会：午前11時～(大学食堂棟3階)

ホームカミング・デー：正午～(同1階)

*一部新聞広告等で開催日について誤った記載がありましたのでお間違いの無いようお願い申し上げます。

「むすぶ力」を掲げて

国際教養学部 部長 永吉 雅夫



本年四月より国際教養学部長の任にあります永吉でございます。

ご存じのように、国際教養学部は二〇〇七年四月に発足したばかりで、ようやく二年次生までを擁する段階にあります。文学部アジア文化学科の後身としてのアジア学科（入学定員一〇〇名）および英語文化学科の後身としての英語コミュニケーション学科（入学定員一五〇名）からなる学部です。

文学部は一九六六年の開学以来その四十年余の歴史のなかで、多くの先輩諸兄弟を社会有為の人材として輩出し、本学の大学としての風格を形づくってきました。開学時の東洋史学科を一九七〇年に東洋文化学科に、そして人間学部として社会学科と心理学科が分離したのが一九九五年、その後一九九八年に東洋文化学科をアジア文化学科、開学以来

のイギリス・アメリカ語学文学科を同時に英語文化学科に改組したのをうけて、国際教養学部があります。

めまぐるしい変化です。大学は自らの見識として、「変わらなくちゃ」の新陳代謝と「変わらない」ことの安心・信頼感と、その間で適切に自己更新してゆくことを求められているのでしよう。先輩諸兄弟のホームランドが失われたわけでは決してありません。

国際教養学部は文学部的なものの継承のもとに、しかも文学部との差異をうちださなければなりません。国際化する社会、国際社会で活躍する現代的な教養人を育成するという学部の目的を示すために、以下のロゴマークを策定しました。



異なる社会や文化のあいだを「むすぶ力」を持った人材こそが、異文化理解、

多文化主義の時代を自己を見失うことなく生きていけるのだと思います。あふれかえる情報の確な選択が必須ですが、それは同時に、従来は無関係、結びつかないと思われていた情報をあらたな視点で「むすぶ力」を持った人材が、あらたな価値を創出して発信することでもあります。国際教養学部が提供する「ヒト・コトバ・ブンカ」をめぐる知の情報をとおして、学生本人はもちろん、人類の「未来」をきりひらいてほしい——国際教養学部はそんな「むすぶ力」をサポートする学部でありたいのです。



経済学部の現況

経済学部 部長 松本 直樹



二〇〇八年四月に経済学部長を拝命いたしました、松本直樹です。経済学部は一九六六年に大学が創立されると同時に、文学部とともに発足いたしました。その後、大学はさらなる発展を目指して改組を繰り返し、現在では、経済学部・経営学部・心理学部・社会学部・国際教養学部の五学部体制となっています。二〇〇七年に文学部が国際教養学部となったため、開学当時の名称が現在まで残っているのは、経済学部だけとなりました。その経済学部でも何度が改組が行われ、今では経済学科とヒューマンエコノミー学科の二学科体制になり、一七三四名の学生と三十名の教員を擁しています。

経済学部は、「経済知力」をキーワードとして、幅広い学識と合理的な判断力をもって活躍できる人材を育成しています。根幹となるカリキュラム体系は、現代の経済社会に関する理

解を深めることができるよう多くの科目を提供し、学生の選択の幅をできるだけ広めるよう配慮したのもなっています。また、「特色ある教育」の一環として、学生向けの講演会を年に数回開催し、本年七月には、本学客員教授の太田房江氏（前大阪府知事）の講演会を開催いたしました。さらに一般市民向けの講演会としては、昨年、「少子化とヒューマンエコノミー」というテーマで三回連続の講演会を開催し、本年は、大阪城スクエアで「おうてもん塾」を実施いたしました。少子化の波は、本学にも押し寄せており、他大学と同様、入試状況は余談を許さないものがあります。しかし、上記のような活動を地道に続けていくことによって、展望は開けてくるものと確信しております。校友会の皆様にも、なお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

心理学科同窓会のお知らせ

心理学科では、二〇〇六年からホームカミング・デーにあわせて、心理学科の同窓会を開催しております。二〇〇八年も同要領で第三回目の同窓会をおこないます。ホームカミング・デーの大学全体での催しに引き続き、午後二時から懐かしの二号館において心理学科同窓会を開催いたします。今回も、学科の現状の紹介や、卒業生の方々の近況報告などを予定しております。

まだ、卒業生全員に個別にお知らせできる体制にはなっておりませんので、この紙面をお借りしての連絡になります。それぞれで声をかけていただいて、多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

また、この件に関してのお問い合わせは心理学科実験準備室 (Tel.〇七二一六四一一九六一九) までお願いいたします。

社会学部支援同窓会ソキウス総会の

お知らせ

社会学部支援同窓会ソキウス会長

新野 三四子

社会学科卒業生のみならず、お元気にお過ごしでしょうか。

今年も、十一月三日(月祝)ホームカミング・デーの日に、社会学部支援同窓会ソキウスの第三回総会並びに懇親会を、下記の要領にて開催いたします。

開催日時

二〇〇八年十一月三日(月祝) 十三時三十分頃より(ホームカミング・デーパーティ終了後)

開催場所 大学食堂棟 3F スタッフルーム

会費 〆二、〇〇〇

連絡先

shimo@res.otemon.ac.jp
(会長のアドレスです)
準備の都合上、ご参加頂ける方はご連絡ください

母校は一二〇周年記念事業の最終段階を迎え、あの一号館も建替え工事中です。そして、学食への坂道右手

には、わたし達卒業生の居場所として「將軍山会館」(校友会館です)が建設され、一号館の壁面につけられていた校章をはじめ、開学当時のキャンパスの模型など、当時を偲ばせる懐かしい品々が展示されています。

新しいキャンパスとともに、開学当時を思い起こしてしばしタイムスリップできる空間を味わいがてら、社会学科卒業生同士の旧交を温めに、同窓の方をお誘い合わせの上ぜひご参加ください。

* 校友会総会が十一時から、ホームカミング・デーパーティは十二時から開催されます。ソキウス総会はその後、引き続き開催いたしますので、よろしくお願いたします。

追手門学院大学のキャリア教育 — 「独立自強・社会有為」の人材育成に向けて

キャリア開発部長 三川 俊樹

少子・高齢化社会の到来、産業・経済の構造的変化、雇用の多様化・流動化、就業をめぐる環境の変化などの影響を受け、「自分に自信がない」「将来に希望を持たない」「人間関係やコミュニケーションが難しい」など、職業意識が希薄で、社会的自立に消極的な若者が増加していることが指摘されています。

その解決のための方策の一つがキャリア教育ですが、追手門学院大学では、二〇〇四年度からスタートさせた「キャリア形成支援プログラム」が、優れた先進的な取り組みとして評価され、二〇〇七年度の文部科学省の現代GPに採択されました。これは、就職や進学を含めて、社会的・職業的な自立に必要な知恵や力は、入学前から卒業後まで系統的に培われなくてはならないという視点に立った、計画的・継続的なプログラムであり、一人ひとりの発達

に応じた個別相談(キャリア・カウンセリング)を重視していることが特徴です。ご承知の通り、追手門学院の建学精神および教育理念は、「独立自強」「自主・自由・自立」の精神のもとに個性尊重の教育を行い、時代の要請に応え得る「社会有為」の人材を育成することにありますが、その意義を確実に継承しつつ、さらに行動力・実践力を重視した取り組みを、本学のキャリア教育として展開しているところです。

卒業生の皆様には、これまでも学生や大学院生の就職、インターンシップ、キャリアスタートプランのご講話など、一方ならぬお力添えをいただき感謝いたしております。これからの時代を生きる若者たちのキャリア形成のために、今後ともあたたかいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新役員候補者推薦のお願い

校友会選挙管理委員長

石川 徹

現在の校友会活動をお世話している現役員の任期が平成二十一年三月末をもって満了します。

本会会員は新しく役員を選出しなければなりません。

本会会則(本会会則抜粋と選挙細則は別ページに掲載しています)第九条の第六項に従い、平成二十一年(二〇〇九年)四月より、平成二十五年(二〇一二年)三月末迄の四年間、本会をお世話戴く役員(評議員)候補の推薦をお願いします。

学校法人追手門学院は、平成二十年(二〇〇八年)に創立百二十周年を迎えました。

母校の大学も四十年の時を経て大きく様変わりしていく大切な時期です。その伝統から培われた心の絆を糧に、胸を張って誇れる母校により高めていくために、今後の発展を望み私たちの校友会を支えて戴く奉任活

ゼミ、クラブ、同好会などから、同窓生や学友、仲間たちをご推薦下さるよう、お手数ですがお願い申し上げます。

新役員選出の手順

1. 同封しております所定の「新評議員推薦用紙」(コピー不可)に必要な事項をご記入の上、推薦者ご自身の印鑑を押し下さい。
2. 封筒に「校友会選挙委員会」宛と記入して「推薦用紙」を封入して、八十円切手を貼って投函して下さい。(ファックス・持参不可)
3. 新評議員推薦の締め切り日は、十一月七日(金)「創立百二十周年記念式典の旦」までの消印有効で、本会の選挙管理委員会に届くように送付して下さい。

4. 選挙管理委員会では、委員立ち会いのもとに開封して卒業期別に推薦を受けた評議員候補者名簿を作成し、候補者に受諾の有無の確認を行います。その上で名簿を校友会会員に送付致します。

5. 評議員候補者名簿をご覧いただき、異議申立があれば、選挙管理委員会に異議申立の理由を封書にて期日までに郵送していただくようお願いいたします。(期日は送付時に連絡します。)

6. 異議申立も無く、定められた期日が過ぎれば新評議員を発表致します。

送付先

〒567-8502

追手門学院大学内 校友会
選挙管理委員会宛

支部活動の 支援について

本会の会員は全国各地で活躍していますが、支部としては、東京・東海・中国・九州の各地区と職域として追手門学院があります。各地区の支部活動については、活動をより活性化させるため、協力していただく方を募っておりますので、お力添えいただける方は、事務局までご一報ください。また、校友会役員会としても出来る限りのサポートを行う所存ですので、会員の方のより一層のご協力をお願いいたします。

今年も奉拝船

学問の神様、天満宮の祭りに今年も、追手門学院が奉拝船を出した。校友会も平野会長らが乗船し、学院をPRした。



卒業生教員対象

入試説明会のご案内

ホームカミング・デー会場におきまして教育界でご活躍されている卒業生の皆様を対象に入試説明会を開催することとなりました。

説明会は入試相談を兼ねた個別の説明形式で、本学の入試制度の実状および二〇〇九年度入試の概要等をお話しさせていただきます。また、貴重なご意見等も聞かせ願えればと存じます。ホームカミング・デーへのご参加と併せまして入試説明会へのご参加をよろしくお願いいたします。

開催日時

十一月三日(月)

十二時〜十三時三十分

開催場所

ホームカミング・デー会場(食堂棟一階に入試説明コーナーを設置)

追手門学院大学校友会会則抜粋

第 4 章 役員および役員会

第 8 条 本会に次の役員を置く。

1. 会長
2. 副会長 若干名
3. 常任理事会議長
4. 常任理事 若干名
5. 理事若干名
6. 評議員 若干名
7. 監事 若干名

第 9 条 役員の選出および任務は次の通りとする。

1. 会長は理事会で選出され、会を代表する。
2. 副会長は、会長が理事中より委嘱し、会長を補佐し、会長が事故あるときはその代理をする。
3. 常任理事会議長は、常任理事中より互選し、常任理事会・理事会を統括しその決定事項を発動し本会の会務一切の責任を持つ。
4. 常任理事は、理事中より互選し理事会の決定事項を執行し、また本会の事務を時担処理する。
5. 理事は、評議員中より互選し本会の会務を決定する。
6. 評議員は、正会員中各卒業年度・各学部よりの所定の選挙方法によって若干名を選出し会務の協議に当る。
7. 監事は正会員中より理事会が選出し、本会会計の監査を行う。

第 10 条 役員の任期は 4 年とし、再任を妨げない。

追手門学院大学校友会評議員選挙細則

本会評議員の選出について、本会会則の第 21 条に従って、ここに選挙細則を定める。

〔選挙権者と被選挙権者の範囲〕

第 1 条 本会の役員選出の基盤となる評議員選挙については、会員の推挙推薦によって、評議員候補者を選び、会員の同意を得て決定するものとする。

第 2 条 本会会員中、正会員のみが本会評議員の推挙推薦権を持つ。

第 3 条 本会会員中、正会員のみが本会評議員候補者として、本会会員の推挙推薦権者より、推挙推薦を受けることができる。

第 4 条 前条の本会評議員候補者の内、次に該当する会員は、本会正会員より推挙推薦があつたとしても本会評議員候補者としての資格を失う。

- ①本会終身会費を納めていない会員
- ②選挙管理委員会が不適当と判断し、それを理事会が了承した会員

〔選挙管理委員会〕

第 5 条 本会評議員選出に際しては、選挙管理委員会を設置する。

第 6 条 選挙管理委員長は、正会員中より常任理事会が委嘱する。選挙管理委員長には、被選挙権はない。

第 7 条 選挙管理委員会委員は、選挙管理委員長が委嘱する。

第 8 条 選挙管理委員会は、本会正会員からの評議員候補者の推挙推薦に関しては、公正かつ厳正に事務を行う。

第 9 条 選挙管理委員会は、選挙の中身を公開する。但し、会員の人権に関わる内容については公開しない。

〔選挙方法〕

第 10 条 本会正会員は、事前に送付した「評議員候補者推挙推薦書」の所定の項目に記入の上、捺印し、封筒に入れ、所定の期日までに選挙管理委員会宛に郵送すること。郵送以外の方法による推挙推薦は認めない。

第 11 条 選挙管理委員会は、期日を定めて、次の事を行うこと。

- ①本会正会員から所定の用紙を用い、郵送されてきた「評議員推挙推薦書」に記載されている事項を検証して、評議員候補者一覧表を作成する。
- ②本細則第 4 条による評議員候補適格者に、本会評議員の資格を受けるかどうかについての問い合わせを行う。受諾を拒否されたときは、評議員候補者一覧表から削除する。
- ③評議員候補者一覧表を、速やかに本会正会員に公示し、意義申立てを求めることとする。
- ④前項 3 の結果を、速やかに本会理事会に報告することとする。

第 12 条 前条の取り扱いを総て修了した段階で、選挙管理委員会は評議員候補者に対し、「評議員就任承諾書」を送り、その回答を本会会員に告知するものとする。

付則

- 1 この細則は平成 8 年（1996 年）6 月 30 日の本会理事会で決定し、同年 9 月 1 日より施行する。
- 2 この細則の変更は、本会理事会の 3 分の 2 以上の同意を得なければならない。
- 3 この細則は平成 20 年（2008 年）8 月 31 日の本理事会で決定し、同年 9 月 1 日より施行する。

創立一二〇周年記念行事と今後の予定

創立一二〇周年記念事業事務局

追手門学院大学校友会の会員の皆様方には、平素より追手門学院・大学に対して、教育・研究事業の発展のためにご協力ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。学院創立一二〇周年記念事業・大学四〇周年記念事業として、中央棟・六号館の建設を柱としたキャンパス整備が行われ、大学全体の景観が美しく一新されました。また、大学校友会団体様より約二億円のご寄付をいただき、建設資金に充当したことにより、校友会館「將軍山会館」をオープンすることができました。会員皆様方には、心より御礼申し上げます。これらの周年事業をより発展・成功させるために、総合募金の推進を行っております。今回、大学校友会会報に趣意書一式を同封させていただき、その主旨説明にもごさいますように一万円募金運動を現在行っております。この機会に是非ともご協力

をお願い申し上げます。

今後の予定につきまして、創立一二〇周年記念DVDの制作、創立一二〇周年記念学院総合案内の発行、創立一二〇周年記念写真カレンダーの制作、「追手門学院の履歴書（文化人編）」ならびに「大阪城プロジェクト」の図鑑の出版や追手門プレゼンツ・ワンコインコンサート、第1回文章表現コンクール「青が散る」表彰式などを予定いたします。

また、創立一二〇周年記念事業の最大のイベントである、創立一二〇周年記念式典が大阪城ホールにて、二〇〇八年十一月七日（金）十三時三十分（開式）十二時三十分開場）されます。

この創立一二〇周年記念式典は、記念事業の集大成といたしまして、「オール追手門」を合言葉に園児・児童・生徒・学生・教職員・保護者・卒業生・卒業生の保護者及び家族や知

人・関係企業の皆様をお招きして六〇〇〇人規模の式典を計画いたしております。学院卒業生におかれましては、当日受付も行いますので、是非ともご参加していただきますようご案内申し上げます。

「オール追手門展」を式典当日十一時三十分より会場の北口周辺で開催いたします。
是非、ご覧ください。

学院創立一二〇周年記念課外活動支援者への感謝状贈呈式のご案内

本学課外活動に対し、長年に渡りお世話になつている外部からの支援者の方に、大学としての感謝の意を表し、感謝状と記念品を贈呈いたします。

開催日時

十一月三日（月・祝）

十一時三十分～十二時

開催場所

食堂棟 地下1階

九州支部総会・懇親会に出席して

常任理事 森 嘉一

今回の総会は六月二十一日午後二時より大分市内の『味のわらじや』という居酒屋で行われました。

会場の『味のわらじや』にはすでに九州支部の皆様が揃われており、大変恐縮した次第です。我々とは別に平木社会学部部長が学長の代理として出席していただきました。それも奥様同伴です。嬉しかったです。先生も前日から大分に來られており、別府温泉に宿泊されていたということでした。

大分事務局の清原先輩、九州支部長の山崎健一さん、平木先生、平野会長とそれぞれ挨拶のあと、山崎支部長から活動報告、乾杯、懇親会へと移りました。支部の参加者は六人で、福岡県から五人、大分から一人でした。総勢十一人で活発に意見の交換を行いました。皆さんがともて大学を思ってくださっていることが感じられ、九州にはこんなに

も大学思いの校友がたくさんおられ嬉しく思い、大学に奉職する者として大きな責任を感じた次第です。今回出席させてもらって本当によかったと思います。次回は福岡で行うことが決まりました。次回も是非とも出席させていただきたいと思ひます。そのときには、大学として誇れる何かをお伝えできたらとおもいます。例えば、大学は他大学に先駆けこんなことをやっているから誇りにしてください……というような！少しオーバーかも知れませんが、追大の将来はこのような卒業生にかかっているかも知れません。少しでも誇れる追大にするため、ご協力をお願いします。

編集後記

さて、会館は出来たが生かすも殺すも我々しだい。
仏像つくって、魂入れずとならないように喝！（潤）